

第3回 佐久市立中込小学校施設長寿命化改修地域協議会概要

日時	令和7(2025)年1月23日(木)午後4時00～5時20分
場所	中込小学校 視聴覚室
出席委員	中澤委員、土屋委員、木内委員、金井委員、廣末委員、柳澤(洋)委員、柳沢(隆)委員、石山委員、白鳥委員、清水委員、田中委員、井出委員
事務局	吉岡教育長、佐々木学校教育部長、土屋教育施設課長、高橋教育施設建築係長、大井専門員、寺澤主任、小山技師

会議事項

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 会議事項
 - (1) 前回会議の確認について
 - (2) 優先順位の検討について
 - (3) 意見交換
 - (4) その他
- 5 閉会

委員からの主な意見・課題(要旨)(「⇒」:事務局からの回答)

○長寿命化改修工事の財源について

- ・国庫補助金のみで改修工事を行うのでしょうか。
⇒国庫補助金の活用を検討していますが、市の単独費もあります。

○地域との交流について

- ・教室の壁等を解体してフレキシブルなスペースを造ることや教室の利用時間の工夫をしても、公民館と学校を併設することは難しいのでしょうか。実現すればいい先駆事例になるのではないかと思います。公民館と学校を併設することは所管している部署も変わるから施錠などの面で厳しいのではないかと考えます。

公民館をそのまま学校に持ってくるのは難しいかと思いますが、これから学校が地域のコミュニティとして中核を担っていくということを大事に考えていく必要があると思います。そのために公民館とは別に地域の方がそこにいて、子どもたちがいつでも交流できるスペースが必要と考えます。

家に帰っても1人でいたりする子が地域の人と交流ができて居場所になるというようなスペースがあってもいいのかなと思います。

コミュニティスペースを設け、三石区の公民館として使わせてほしいと考えています。

学校に地域交流の場所をつくらなくても、子どもたちが外に出て交流するといった形もあると思います。

⇒現時点では、学校が必要とする教室等のスペースでいっぱいな状況です。公民館を設けるスペースを確保することはできません。

一方で、子どもたちと地域の皆様が交流できるようなスペースの重要性は認識しているので、専用スペースは難しいですが、フレキシブルに使える交流スペースを検討していきたいと考えています。

- ・視聴覚室には使用していない物置があります。この場所と一体に整備すれば部屋が広がり、そこが

地域の老人の皆さんと子どもたちがコミュニケーションをとれるような場所になるのではないかと思います。

⇒ご意見として伺います。

○長寿命化改修工事の規模について

・外構部分の改修は重機を入れて大々的に行うのでしょうか。

⇒大々的に行う計画はありません。現時点では長寿命化改修工事を行う際に支障となったり、倒木の恐れがある樹木などがあれば処理を検討していきたいと考えています。

・一部増築したり、校舎を延長したりする可能性はあるのでしょうか。

⇒基本的に増築や校舎を延長していくことは考えていません。

バリアフリーに配慮した校舎を検討した結果、費用対効果等を踏まえ、2階渡り廊下等が増築される可能性はあると考えます。

○樹木について

・高木や落ち葉など管理が困難な樹木については整備をした方が良いと思います。記念樹は大切にしていきたいと思います。

校庭周りの高木の枝が電線に支障をきたしている枝については、処置を検討した方が良いと思います。

⇒改修工事において処置が必要な樹木もあると思いますが、校歌にあるポプラや記念樹など、地元で大切にされている樹木もあろうかと思っています。処置が必要となる際は、伐採や移植等の相談をしながら進めていきたいと考えます。

○渡り廊下及びエレベーターについて

・渡り廊下やエレベーターは、震災や浸水の時に1階が使えないと2階が3棟独立して使いづらいということもあり、必要だと思います。エレベーターの必要性もありますが、渡り廊下の方が利便性等に優れていると思います。

○防犯面について

・学校敷地内に自由に入れるのは本当に困っています。某市の事件のこともあり、外周にフェンス等を設置することが必要だと思います。

・防犯上敷地に入れないようにするためには、フェンス等で囲うしかないとします。

・三石地区の班長会議や回覧板を通して、学校敷地へ自由に出入りすることを注意するよう周知しました。区民は「何で入れないのか」という認識でした。今はそのような認識は通用しないとPRしていけば良いと思います。フェンス等で囲うのも1つの案だが、立入禁止の看板等で注意喚起しても良いと思います。

○校庭の段差について

・段差については、子どもたちが安全であれば、学校として大丈夫であろうかと思っています。

・川が氾濫したら校舎が沈むことを心配して高低差をつけてあると思うので、段差は残した方がよいと思います。階段状に傾斜をつくれれば危険度は減るし、高低差も確保できるので危険性を軽減する方向で検討しても良いと思います。

- ・校庭の段差より、校舎の整備が先だと思います。
- ・校庭の段差や防犯、動線の改善については必須事項だと思います。

○保健室の配置について

- ・保健室は校長室の隣にあると1番良いと思いますが、体育館の近くにあり良いこともあります。先生たちが状況を一番理解しているので、先生たちの使いやすいように計画すると良いと思います。
- ・臼田中学校の保健室は職員室からかなり遠いが、校庭が見えるところに配置されています。佐久平浅間小学校は校長室の横にあります。中込小学校は体育館と校庭に一番近いところにあるという利点もあり、様々な考え方があり難しいところです。
- ・救急車が入りやすい場所が良いと思います。先生たちの意見を聞きながら進めることが良いと思います。

○新たな学びの形について

- ・現在の校舎は、新聞記事等で見るような新たな学びの形とは違うような感じがします。改修でも新たな学びの形に対応できるものにしてほしい。
- ・一体化した広い教室等ができれば、様々な活動ができると思います。教育の現場が新しくなっているので、それに対応できるようにしてほしい。
- ・風越学園や軽井沢中学校は木を全面に出した校舎としている。新しい学びの形が変わりつつある中で、改修でもそういった部分を取入れながら計画を進めてほしい。

○今後の進め方について

- ・本協議会での意見を学校の図面に書き込み、共有していくことが大切なことだと思います。
- ・本協議会での意見・要望を参考に専門家の考え方を取り入れた段階で、協議できる機会があればよいと思います。
- ・様々な問題点について、外部の設計事務所と一緒に地元の設計事務所も参加する形ができれば、より良い設計ができると思います。
- ・業者や設計事務所に先進的な学校を見学してもらうことも、より良い設計をするうえで大切なことだと思います。
- ・先進的に整備している学校を参考にして、オープンな教室や設備機器を取り入れることも良いと思います。
⇒本協議会での意見を整理し、設計の仕様で検討していきたいと考えています。引き続き、学校と相談しながら計画を進めていきたいと思います。今後、コミュニティスクール等の場においても、丁寧に進捗状況等の説明もしていければと考えています。

○当会議の情報発信について

- ・今年成人式を迎えた卒業生が、過去に埋めたタイムカプセルを掘らしてほしいとの問い合わせがありました。長寿命化改修後では掘り起こせなくなる可能性も生じるので、そういう点にも配慮し、積極的な情報発信が必要であると思います。
⇒しっかりと情報が届けられるよう情報媒体を含め検討していきます。

会議の流れ

第1回
(9月5日)
現状の把握



第2回
(11月21日)
課題の整理



第3回
(1月23日)
意見集約



第4回
(3月予定)
まとめ